

平成30年度北海道農業生産工程管理手法（GAP）導入推進セミナー開催要領

1 目的

GAPは、農産物の安全性の確保や品質の向上、環境保全、労働安全の確保等を図る上で、有効な生産工程管理手法であり、道内でも、年々、取組産地が拡大している一方、品目や地域により取組内容にばらつきが見られる状況にある。

このため、関係者が一体となって、道内でのGAPの取組の裾野を広げるとともに、取組の水準を合わせ、ステップアップを図るため、本セミナーを開催する。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への食材供給や、流通先が求める農産物供給をしていくためには、道内産地における第三者認証GAPの取得推進が重要であることから、集団等でGAPを取得した事例を中心に紹介する。

2 開催日時

平成31年3月11日（月） 13:30～16:40

3 場所

自治労会館5階大ホール（350名程度収容可能）
（札幌市北区北6条西7丁目 TEL：011-747-1457）

4 主催

北海道農業生産工程管理手法（GAP）導入推進会議
（北海道農政事務所、JA北海道中央会、ホクレン、北海道農政部）

5 参集範囲

生産者、市町村、農業協同組合、JA北海道中央会・ホクレン本所・支所、普及センター、総合振興局・振興局、本庁関係各課 他

6 セミナー内容

- (1) 国における第三者認証GAPの推進について（オリ・パラ情報含む）
（農林水産省） 13:40～14:10
- (2) 北海道におけるGAP推進状況等について
（北海道農政部食品政策課・農産振興課） 14:10～14:30
- (3) 道内の取組事例
 - 農事組合法人 伏古生産組合 14:40～15:20
 - 有限会社 丸富青果 15:20～16:00
 - 岩見沢農業高等学校 16:00～16:40